

# クティブな掲示板による ユニバーサルな情報発信

テーマ：(1) 特別支援学校の児童は、掲示物を通して見て、触れて、日常とは違う異文化のアイテムに興味を持てるようにする。

(2) 小学校の児童は掲示板を通して、ラオスと日本、あるいは沖縄の「違い」に気づき、その「違い」を肯定的にとらえ、「面白い」と感じる姿勢をはぐくむ。そしてその「違いの面白さ」から、障害を持った児童も同様自分たちの生活の中にある「含めた世界」として考えられる姿勢をはぐくむようにする。

対象：小学生～

## 運用展開

第1ステージ(テーマ：イントロダクション) アイコン的な写真やランドマークの紹介、この場所に掲示板があってここで何か始まる、という予告的な位置づけ)		
第1週	第2週	第3週
黒台紙写真第1グループ掲示	写真を第2グループへ段階的に移行	赤台紙写真第2グループ掲示
機内誌比較	ラオスの教科書	ラオスの文字ワークブック
アルバム①	アルバム②	アルバム③
第2ステージ(テーマ：食文化) 子どもたちが興味を持ちそうな「食べもの」を2番目に設定し、更に掲示物に注意が引けるようにした。		
第1週	第2週	第3週
食べ物なあに①	食べ物なあに②	材料なあに
ラオスの指差し会話	観光ガイド	カップティオ
アルバム④	アルバム⑤	アルバム⑥
第3ステージ(テーマ：不発弾) 最後に一番重いテーマである「不発弾」である。ラオスの困難性は40年前に終わったベトナム戦争の被害である不発弾にあるといっても過言ではない。その実相を沖縄の不発弾とリンクできるようにしながら取り組むようにした。		
第1週	第2週	第3週※
不発弾の啓発ポスター	不発弾の手順	クラスター爆弾模型
不発弾のマンガ①	不発弾のマンガ②	原寸大爆弾
クラスター爆弾の模型	楽器、不発弾スプーン	不発弾スプーン

※第3週の取り組みは未了。

【添付資料 掲示板拡大】



S字フックでパイプハンガーにつりさげ、着脱を容易にした。

ラオスの国花「プルメリア」の造花を各所に配置し、雰囲気上げる。

写真は厚みのあるスタイロフォームに貼り、凹凸を出し、認知度を上げる。

プラシートは、3分割した。掲示物を取り外した後、たたんで持ち運びしや

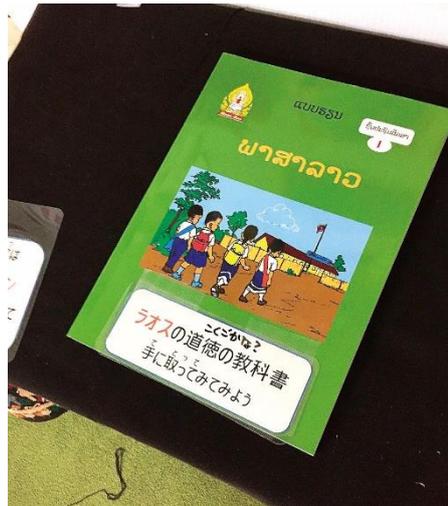
ラオスで購入したコーヒーの空き袋

めくり型の掲示、立体物の掲示

ラオスの民族衣装「シン」をテーブルクロスにして演出効果を高める。



ラオスで購入したスプーン  
 ラオス北部の町、シェンクアンでスプーンを  
 買いました。  
 さわって、手に取ってみてください！  
 このスプーンは、ラオス中、どこにもあるわけでは  
 ありません。でもシェンクアンでは普通に使われてい  
 ました。値段も10本で150円くらいです。



ラオスの道徳の教科書  
 手に取ってみよう

スプーンや  
 本も手に取  
 ってみても  
 らえるよう  
 に 掲 示 し  
 た。



クイズの中には、実際触れて考え  
 させる形式のものも作った。



掲示板にはマジックテープをこのように(黄色の枠  
 内)ボーダー状に貼り付け、フレキシブルなレイアウ  
 トを可能にした。



「移動可能」ということは同時に転倒、破損の可能  
 性も高くなる。その為展示中はキャスターが移動  
 しないように設置した。

昆虫標本、  
 お金のラミ  
 ネット等も  
 利用した。

